

## 【小樽税務署長賞】

### 一番身近な社会貢献

小樽市立向陽中学校 3年

後藤 悠斗

みなさんは「税金」と聞くと、どんな種類の税金を思いうかべるでしょうか。おそらく多くの人が「消費税」を思いうかべると思います。みなさんも一度は消費税を払った事があるのではないかとという程、数多くある税金の中で最も身近な税なのではないでしょうか。

では、その消費税がどこで使われているのか、みなさんは知っていますか。主に消費税は「社会保障」に使われています。具体的には年金や介護、医療費や、いま問題となっている、少子高齢化対策に使われていて、高齢の方から子供まで幅広く税の恩恵を受けている事が分かります。他にも「税」という大きなくくりで見ると、道路、上下水道、公園の整備や、警察、消防、病院の治療費、学校も教科書を始めた皆さんの税金が使われており、例をあげるときりがありませんが、みなさんの身近な所で税金が活躍しています。外に出てみるとその恩恵を強く感じます。外の道路が整備されている事や、警察の方々のおかげで安心して外を歩ける事など、「当たり前」に感じる事も、裏で頑張っている人たちのおかげで成り立っているんだという事を強く感じ、税の大切さを改め

て考えるきっかけとなりました。

みなさんも、消費税の税率がこれまで上がってきている事は知っていると思います。否定的な意見を持つ人もいますが、そこには少子高齢化で高齢者が増加し、介護などの社会保障費が増えている事が裏にあるそうです。しかし、税金そのものの制度が、日本人全体が、広く薄く税金を負担しつつ互いに「助け合う」というとても公平な良いしくみだと思つので、助け合いの心を持って、どんどん納税してほしいと思います。

税金と聞くと嫌な顔をする人もいると思います。しかし、税金はみんなが負担する助け合いの制度であり、みなさんの周りでも税金が使われている物が沢山あります。なので、ぜひ嫌な顔をせずに税金を納めてほしいです。そして僕たちが物を買って税を納める事で社会保障に貢献できるので、僕は納税は、身近にできる社会貢献だと思つので、税を「悪」だと毛嫌いするのではなく、社会の一員として税を納めてほしいと思いました。